

第 6 回 下野市ごみ処理施設（リサイクルセンター）

建設候補地検討委員会

【 議 事 要 旨 】

開会

前回議事の確認

- ・ 議事内容の説明
異議なし（委員）

第 6 回検討委員会の検討テーマの確認

- ・ 候補地の評価については、段階的に評価するのか。次回第 7 回委員会の評価点 1 位で決定となるのか。（委員）
次回第 7 回委員会では、本日検討している評価項目・評価基準に基づき、候補地ごとに 1 次評価の点数がでる。ただし、1 次評価の順位で候補地が決定するのではなく、生活環境の視点以外の評価項目で 2 次評価を行います。（事務局）
- ・ 1 次評価の点数は 2 次評価においてどのような扱いとなるのか。（委員）
1 次評価の点数に 2 次評価の点数を加えて、評価を実施します。（事務局）
- ・ 2 次評価に進む候補地数は決まっているのか。視察に行く候補地数は決まっているのか。（委員）
決まっています。委員会で決定します。（事務局）
- ・ 2 次評価で採点された数値の順位ですべてが決まるのではなく、3 次絞り込みにて現地視察場所を決定します。その後、2 月に委員の皆さんと現地を見たあとで、最終的に話し合いで決定します。（委員長）

評価手法及び 1 次評価項目・評価基準の検討

- ・ 1 次評価の方法を再度説明してほしい。（委員）
1 次評価ではすべての項目で の場合、16 点（=8 項目× 2 点）満点になる。 は 1 点として数値化し、評価します。（事務局）
- ・ 住宅群とは、2 軒以上の住宅を対象としているのか。（委員）
2 軒以上のまとまりを住宅群としています。住宅群という用語は、旧都市計画マニュアルに記載されています。（事務局）
- ・ 配布された図面では、教育施設の位置等がわからないが、どのように位置の確認を行うのか。（委員）

- 事務局にて図面上で距離等を測ります。その根拠は提示します。(事務局)
- ・人口密度などの明確な基準のない項目は、どのようにして基準を設定するのか。(委員)
 相対評価として判断ができるよう中央値としています。中央値の採用によりとの同数となります。(事務局)
 - ・病院等からの距離は建物からの距離か、もしくは敷地からの距離か。(委員)
 敷地からの距離としています。(事務局)
 - ・リサイクルセンターは水を使うのか。ペットボトルの残り等はどのように処理するのか。(委員)
 リサイクルセンターでは一般的に水はあまり使いません。施設の詳細については、小山広域にて検討中ですが、ペットボトルの残り等は排水処理設備にて処理したのち、排出します。(事務局)
 - ・交通容量、混雑度について説明がほしい。(委員)
 交通容量は、道路幅、時間あたりの通行量の基準から交通容量が決まります。混雑度は1を超えると自然渋滞が発生すると考えてください。(委員長)
 - ・今検討しているリサイクルセンターは下野市単独の施設ではなく、小山広域の施設として考えたらいいか。(委員)
 そのとおりです。小山市、野木町を含めた小山広域全体でのリサイクルを担う施設となります。(事務局)
 - ・市役所建設候補地は現在の候補地に入っているのか。(委員)
 これまでの条件に合致している箇所は、候補地となっています。(事務局)
 - ・この委員会では、客観性を持った評価内容で最終的に答申をしたいと考えている。(委員長)
 - ・1次評価の評価項目及び評価基準は事務局案のとおり進めてよいか。(委員長)
 異議なし(全員)

建設候補地区の評価項目のアイデア出し

- ・下野市の中心や市のはずれに位置するなどの評価項目はないのか。
 評価項目のアイデアとします。(事務局)

その他

- ・今後の委員会議題(案)の説明
- ・次回第7回委員会は12月21日(月)14:00からとする。第8回委員会は1月25日(月)14:00からとする。第7回、第8回の会議場所は国分寺庁舎3F会議室とする。第9回委員会(現地確認)は2月18日(月)13時~16時とする。現地確認の詳細は事務局にて調整する。(事務局)

閉会

以上